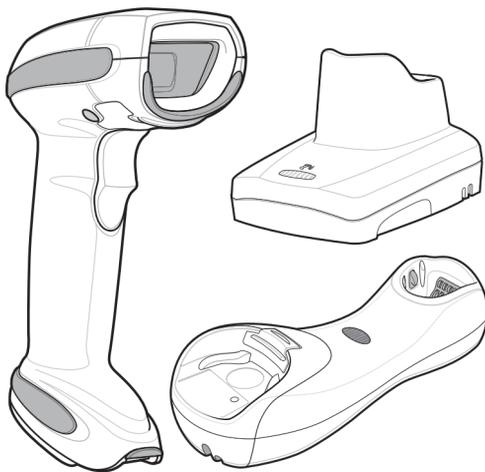


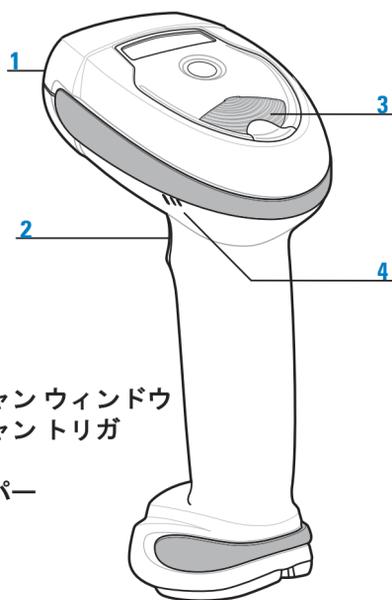
LI4278 リニアイメージャ クイック スタート ガイド

詳細は、『Product Reference Guide』を参照してください。

作業領域に提示してください
http://www.zebra.com/li4278

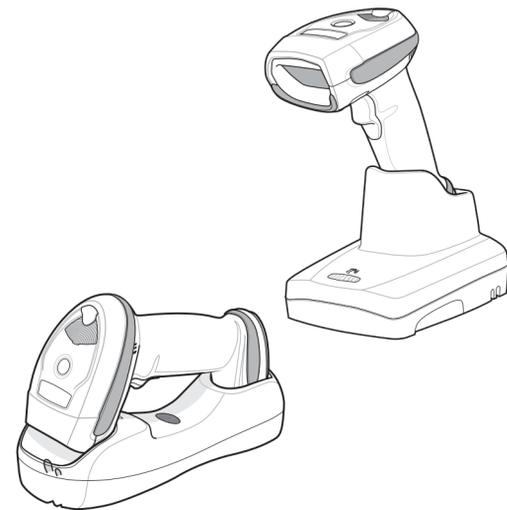


- 1 スキャンウィンドウ
- 2 スキャントリガ
- 3 LED
- 4 ビーパー



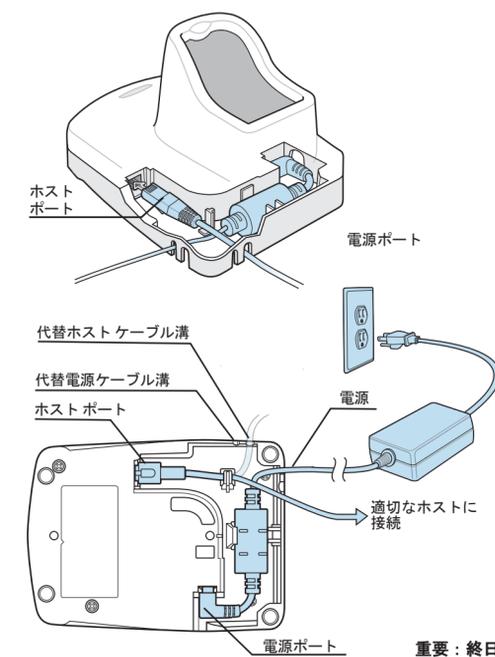
クレードル

注: 標準モードまたはプレゼンテーションモードでスキャンする前に、スキャナをクレードルとペアリングする必要があります。



クレードルのセットアップ方法の詳細については、『LI4278 プロダクトリファレンスガイド』またはクレードルの『Quick Reference Guides』を参照してください。充電時には、クレードルに電源を使用すると充電時間が短縮されます。

手順 1 - クレードルケーブルの接続



手順 2 - スキャナのクレードルへのペアリング

スキャナをクレードルとペアリング (接続) する方法には次の2通りがあります。ペアリングバーコードをスキャンする方法とスキャナをクレードルに装着することによりペアリングする方法です。それぞれのクレードルタイプには、独自のデフォルトのペアリング方法があります。Bluetooth 接続ビーブ音が鳴ると、スキャナとクレードルは接続されています。

- プレゼンテーションクレードルのデフォルト (装着によるペアリング): クレードルとスキャナは、スキャナがクレードルに装着されたときにペアリングされます。
- 標準クレードルのデフォルト (ペアリングバーコードをスキャン): クレードルとスキャナは、ユーザーがクレードルのペアリングバーコードをスキャンしたときにペアリングされます。

注: 装着によるペアリングが有効な場合、ペアリングバーコードをスキャンする方法を引き続き使用できる可能性があります。『LI4278 プロダクトリファレンスガイド』から適切なペアリングメソッドプログラミングバーコードをスキャンして、いずれのクレードルタイプでも装着によるペアリングを有効または無効にすることができます。

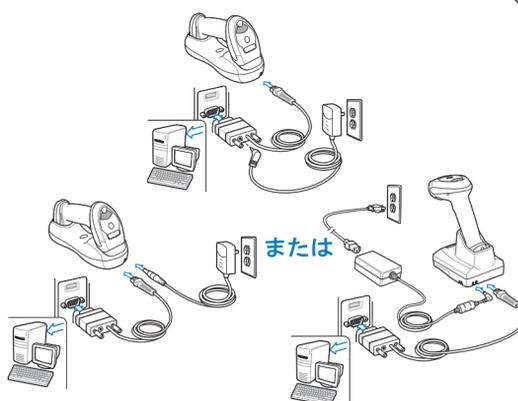


重要: 終日使用する前に、リニア イメージャのスキャナを 24 時間充電してください。

手順 3 - ホストインターフェースへの接続

注: 必要なケーブルは構成によって異なります。

RS-232



手順 4 - インターフェースのセットアップ (ホストバーコードのスキャン)

RS-232

下のバーコードのいずれかをスキャンします



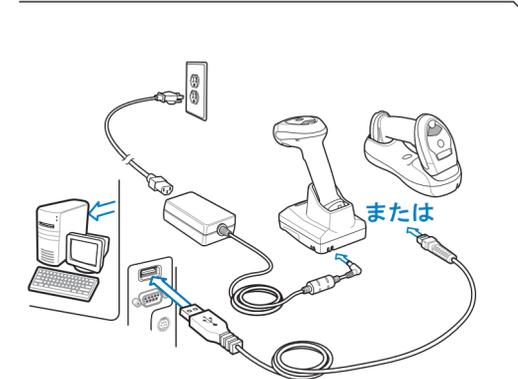
手順 5 - 無線通信のホストタイプ

無線通信ホストタイプ

接続先のリモート機器に合わせて、次のバーコードをスキャンしてください。CR0078 クレードルに接続する場合は、クレードルホストをスキャンします。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。



USB



USB

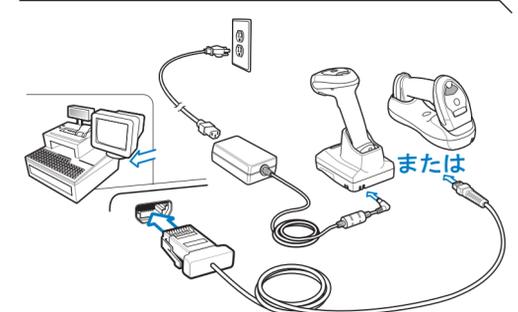
下のバーコードのいずれかをスキャンします



ペアリングの解除/切断



IBM 46XX

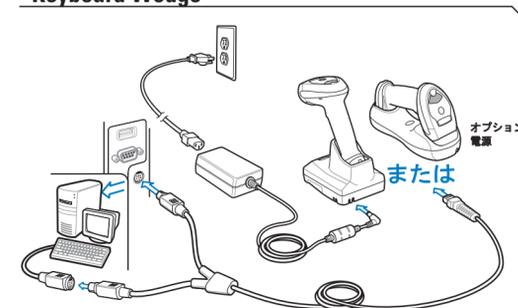


IBM 46XX

下のバーコードのいずれかをスキャンします



Keyboard Wedge



Keyboard Wedge

下のバーコードをスキャンします



便利なバーコード

デフォルト設定



工場出荷時の設定に戻す

バッテリーオフ



長期間保管/輸送時のバッテリーオフ

123SCAN

123Scan は PC ベースの使いやすいソフトウェアツールで、バーコードや USB ケーブルを使用して迅速かつ簡単にカスタムセットアップできます。詳細については、<http://www.zebra.com/123Scan> をご覧ください。

